

しなののうた

雪解けの滴のすだれ軽やかに歌うたうがにリズム奏でり



杉田小百合

しなののうた

路の臺を野より採りくる友のいて幼き日々の母浮かびくる

杉田小百合



しなののうた

日射し受け公園歩めば足裏にほんのり伝う土の温もり



杉田小百合

しなののうた

ふるさとの飯山映る雪景色に  
脳裏をめぐる茅葺きの家

杉田小百合



しなののうた

公園をひとり占めして園児らは声高高と空を掴めり



杉田小百合